

保護者の皆様

枚方市立長尾小学校
校長 奥苑 浩二

令和3年度学校教育自己診断の結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素より学校教育にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

12月に実施いたしました学校教育自己診断アンケートに、ご協力ありがとうございました。結果についてお知らせいたします。また、この結果を基にこれからの学校運営や学習指導等に活かしていきます。今後とも、本校学校教育についてご理解、ご協力をお願い致します。

① アンケート回収率

児童アンケート 85.3%
保護者アンケート 54.8%

※アンケートの回収については、本年度は児童のタブレットを使つてのアンケート調査となつたため、回答の回収率が低調でした。来年度については、保護者の皆様が回答しやすい形態を考えていきたいと思っています。

②結果と分析

表について

学校自己診断アンケートは、A：よくあてはまる・B：あてはまる・C：あまりあてはまらない・D：まったくあてはまらない の4段階で評価をいただきました。各項目の結果については、○：A+Bで肯定的な意見、△：C+Dで否定的な意見として集計しました。また、昨年度と同じ内容項目については肯定的意見の昨年度比も提示します。

(○○アンケート○)

アンケート項目		
○	A+B (肯定的意見)	○昨年度比 (%)
△	C+D (否定的意見)	

アンケートの対象者です。○の数字はアンケート番号です。

昨年度のデータがないときには、—をつけています。

(1) 学校生活について

(児童アンケート①)

(保護者アンケート①)

学校に行くことは、楽しい		
○	88.1%	昨年度比 +5.5P
△	11.9%	

子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。		
○	91.7%	昨年度比 +8.5P
△	8.3%	

「学校に行くことは楽しい」については、保護者、児童ともに、昨年度より大きく上昇しました。子どもたちが学校へ行くことを楽しみにしていることは、子どもたちが学校に安心感を覚え、その活動に充実を感じている証拠となります。この項目の数値の上昇はうれしい限りです。ただ、約9割の子どもが楽しみにしている一方、そうでない子どもたちも1割います。すべての子どもたちが安心感、充実感を覚え、楽しいと思える学校作りに

尽力してまいります。

(児童アンケート②)

落ち着いた雰囲気です授業を受けている。		
○	81.9%	昨年度比 (%) +3.4P
△	18.1%	

(保護者アンケート②)

学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業している		
○	85.9%	昨年度比 (%) -2P
△	14.1%	

児童、保護者のアンケートとも、おおむね昨年度と同程度の結果となりました。学習が児童のものとなるために「落ち着いた雰囲気の授業づくり」は欠かせません。学習規律を各クラス徹底させながら、同時に子どもたちが集中して取り組める授業づくりを行ってまいります。

(児童アンケート⑦)

授業はわかりやすい。		
○	94.4%	昨年度比 (%) +4P
△	5.6%	

(保護者アンケート⑦)

先生は、分かり易い授業づくりをしている。		
○	91.2%	昨年度比 (%) -1.9P
△	8.8%	

児童、保護者とも9割を超える肯定的な意見を頂きました。「授業が分かる」ことは、子どもにとって、学校が楽しいと感じることができるかどうかの大きなポイントです。教員のさらなる授業力の向上を目指し取り組んでまいります。

(児童アンケート④)

先生は子どもの意見や考えを大切にしてくれる。		
○	95.3%	昨年度比 +1.1P
△	4.7%	

(保護者アンケート④)

先生は、子どもの考えを大切に授業している。		
○	96.1%	昨年度比 (%) +3P
△	3.9%	

(児童アンケート⑨)

授業で自分の考えを言うときがある。		
○	68.6%	昨年度比 -3.6P
△	31.4%	



児童・保護者ともに肯定的な意見が9割を超えています。自分の思いを大切にしてもらった経験は子どもたちの自己肯定感を高める意味で非常に重要なことです。自分の思いを大切にもらった子どもは、他人の思いの分かる心根の優しい子どもに育ちます。

また、学力面で見ると、自分の意見、思いが尊重されているという気持ちを持っている子どもは学習に積極的に参加し、自らの意見をどんどんと発表、学力が伸びやすいという面があります。学習指導要領ではうたわわれている「主体的」で「対話的な」授業で「深い学び」に取り組みやすいということです。

その意味で「意見や考えを大切に」の項目の数値が高いことは喜ばしいことです。

ただ、上の質問と関連する「考えを言うときがある」の数値は、68.6%と低い数値になっています。これは、タブレットを通しての学習が増え、タブレット上では意見を述べるが、挙手をして発表する機会自体は減ったことを意味しているのではないかと思います。

(児童アンケート③)

先生は、より良い学級を目指して工夫している。		
○	94.0%	昨年度比 (%) -1P
△	6.0%	

(保護者アンケート③)

先生は、より良い学級を目指して工夫している。		
○	95.1%	昨年度比 (%) +0.3
△	4.9%	

児童・保護者ともに、昨年同様9割を越える肯定的な意見が得られました。

教師の目指すところ(様々な意味での「より良い学級」)が明確で、同時にその思いが子どもに伝わること、そして保護者の皆様に伝わることは大切なことです。教師の思いが伝わるからこそ、子どもはよりよく成長していきます。

(児童アンケート⑤)

先生は、適切にほめたり叱ったりしてくれる。		
○	96.6%	昨年度比 (%) +4.6P
△	3.4%	

(保護者アンケート⑤)

子どもを効果的にほめたり叱ったりしている。		
○	94.1%	昨年度比 (%) +2.7P
△	5.9%	

児童、保護者ともに昨年同様90%以上の肯定的意見がありました。また、昨年度より肯定的意見の数値が増えています。時機を逃さず具体的にほめることで、子どもたちの力は伸び、好ましい行動がより増えていきます。今後も児童の良いところはほめ、注意するべきところはしっかりと注意できるメリハリのある指導を行っていきます。また、そのために、児童理解を深め、個に応じた指導ができるように努めます。

(児童アンケート⑥)

先生は相談にのってくれる。		
○	92.8%	昨年度比 (%) +4.4P
△	7.2%	

(保護者アンケート⑥)

先生は、子どものことで相談に応じている。		
○	91.0%	昨年度比 (%) -0.4P
△	9.0%	

児童、保護者ともに、肯定的意見が9割を超えています。子どもの悩み、保護者の方の教育相談に真摯に耳を傾ける、その姿勢を続けてまいります。

(2) 学習について (授業を含む)

(児童アンケート⑪)

ICTを使った授業がある。		
○	94.7%	昨年度比 (%) +6.8P
△	5.3%	

(保護者アンケート⑧)

子どもはICTを使った授業があると言っている。		
○	97.1%	昨年度比 (%) -1.2P
△	2.9%	

(児童アンケート⑫)

ICTを使った授業は分かりやすい。		
○	92.1%	昨年度比 (%) -
△	7.9%	

(保護者アンケート⑨)

ICTを使った授業は分かりやすいと言っている。		
○	87.7%	昨年度比 (%) -
△	12.3%	

本校では「授業時のタブレットの効果的使用」について研究し、授業で積極的にタブレットを使用しています。「調べる」「まとめる」「提出する」「友だちと意見を交換する」等、学習材として効率的、効果的に使用しています。その成果は「ICTを使った授業は分かりやすい」のアンケート結果に表れています。これからも、タブレットを効果的に使用し、分かりやすい授業を行っていきます。

同時に、SNS等の交流が増えてきていることもあり、情報モラルについての教育もしっかりと行っていきます。

(児童アンケート⑧)

授業では、めあて（目標）が示されている。		
○	95.3%	昨年度比 (%) +1.4P
△	4.7%	

(児童アンケート⑭)

授業の最後に振り返る活動を行っている。		
○	94.0%	昨年度比 (%) -0.2P
△	6.0%	

枚方市では「Hirakata 授業スタンダード」を明示し、基本を重視した授業を展開しています。授業のはじめに「めあて」を示し、終わりには「振り返り」を行う。ほぼすべての授業でこの形がとられています。こうすることで、児童の学習意欲が増し、また学習定着度が上がります。

(児童アンケート⑩)

授業で話し合う活動が行われている。		
○	93.4%	昨年度比 (%) -0.5P
△	6.6%	

(児童アンケート⑬)

授業を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることがある。		
○	81.7%	昨年度比 (%) +4.3P
△	18.3%	

二人一組の話し合いから、4、5人のグループでの話し合い、そして学級討議へと、学年や発達段階を考慮しながら、授業に話し合い活動を取り入れています。学習指導要領における「対話的な学び」とは、他と話し合い、自分とは違う考えに触れることで、自分の考えが変わったり、洗練されたりして、深まっていくことです。「話し合い活動」の実施には9割以上の肯定的意見がありますが、その結果としての「自分の考えを深めたり、広めたり」のアンケートは肯定的意見が8割にとどまっています。これは、話し合った結果、自らの考えが深まったと実感できていない児童が一定数いることを示しています。

今後も「対話的な学び」を重視し、授業を展開していきます。



(3) 家庭との連携について

(保護者アンケート⑮)

学校は、ブログ・学校だより等で、学校の取り組みや子どもの様子を積極的に発信している。		
○	91.3%	昨年度比 (%) -1.8P
△	8.7%	

(保護者アンケート⑯)

学校ブログを見ている。		
○	44.7%	昨年度比 (%) +9.4P
△	55.3%	

本年度は年度途中より、学校だより・学年だより等の配布を紙媒体から、児童のタブレットを通じての電子媒体での配布としました。また、同時に学校ブログに掲載、他のものも含め、多くの手紙を掲載しました。様々な行事、児童の様子等を今後も学校ブログを通じて発信してまいります。

(4) 学校運営について

(保護者アンケート⑱)

学校は、保護者や地域の願いに応じている。		
○	92.7%	昨年度比 (%) +6.5P
△	7.3%	

(保護者アンケート⑲)

学習環境は充実している。		
○	90.2%	昨年度比 (%) +5.7P
△	9.8%	

(保護者アンケート⑳)

学校は、個人情報を守っている。		
○	97.1%	昨年度比 (%) +0.5P
△	2.9%	

(保護者アンケート㉑)

学校は、感染症対策を適切に行っている。		
○	89.8%	昨年度比 (%) +1.9P
△	10.2%	

学校運営について、どの項目も肯定的意見が増えました。トイレの老朽化の問題は毎年上がっておりましたが、本年度は教室棟の西側トイレが改修され、とても快適なものになりました。来年度は、教室棟東側のトイレが改修され、教室棟のすべてのトイレが快適なものとなります。学習環境面では他に、タブレットが全児童に配布されたことにより、学習効率が上がりました。

個人情報については、徹底した管理を行っており、外部に漏れることはありません。成績等は、枚方市教育関係のみの通信網を使って処理しています。

感染症対策については、手洗い、マスク着用、換気を軸に昨年度から引き続き徹底して行っています。給食の時には、飛沫ガードを用い、一人で黙食する、合唱は距離を取りマスク着用で行うなど、大阪府・枚方市の基準に従いながら教育活動を行っています。まだまだ予断を許さない状況が続いていますので、一層の感染症対策に取り組みます。

(5) 食育について

(児童アンケート⑮)

学校で、食べることの大切さを学んでいる。		
○	92.1%	昨年度比 (%) +0.9P
△	7.9%	

(保護者アンケート⑩)

子どもは、学校で食べることの大切さを学んでいると言っている。		
○	90.0%	昨年度比 (%) +9.0P
△	10.0%	

児童、保護者とも肯定的意見が90%に達しています。本校では栄養教諭が中心になって各教科の中で食育の指導をしています。また、「枚方の郷土料理」や「おせち料理について」など「食」に関する話題を、動画で配信する等、子どもたちに様々な形で「食」についての発信をしています。学校とご家庭、双方で食に関しての話をすることで、子どもたちの食に対する関心も高まるのではと思います。毎月発行しています「給食だより」や「食育だより」もご覧ください。

(6) 家庭学習について

(児童アンケート⑩)

(保護者アンケート⑫)

宿題を忘れずにできる。		
○	88.1%	昨年度比 (%) +3.8P
△	11.9%	

子どもは宿題を忘れずにしている。		
○	90.3%	昨年度比 (%) +0.6P
△	9.7%	

家庭学習の基本は、宿題をすることです。約 9 割の児童が宿題をきっちりとやる習慣がついているようです。1 割の児童はまだしっかりとできていないようです。学校でも児童に促していきますが、まだ習慣化できていない場合、お家でもお声掛けいただければと思います。

(児童アンケート⑪)

(保護者アンケート⑬)

家で学校の授業の復習をしている。		
○	52.5%	昨年度比 (%) +2.9P
△	47.5%	

子どもは家で学校の復習をしている。		
○	32.0%	昨年度比 (%) +2.7P
△	68.0%	

(児童アンケート⑫)

(保護者アンケート⑭)

家で、自分で計画を立てて勉強している。		
○	59.1%	昨年度比 (%) +1P
△	40.9%	

子どもは、家で計画的に学習している。		
○	57.3%	昨年度比 (%) +17.6P
△	42.7%	

「学びに向かう力」をつける意味で、家で計画を立て学習をすること、宿題以外の学習をすることは大切です。アンケートでは、「授業の復習」となっていますが、「自由学習(勉強)」「自分で課題を決めて取り組む学習」を各学年で宿題として出していますので、少しずつ、自学自習力がついてくればと思います。また、自分で計画的に学習している児童は 6 割弱であり、家に帰ってからの学習時間の決め事をお家の方でしていただければと思います。ご協力よろしく願いいたします。

7) 自分自身のこと

(児童アンケート⑬)

(保護者アンケート⑮)

自分には、よいところがあると思う。		
○	73.6%	昨年度比 (%) - P
△	26.4%	

子どもは自分に良いところがあると思っている。		
○	88.2%	昨年度比 (%) - P
△	11.8%	

自分の良さを実感できることを自己肯定感と言いますが、本校の約 7 割の児童が自分には良いところがあると思っています。自己肯定感の高い子どもは、学力面でも、行動面でも、いい方向に伸びる傾向があります。学校でも、子どもたちのがんばりをどんどんほめていき、自己肯定感を高めていきたいと思っています。ご家庭でも、様々な場面で「がんばったね」の一言を投げかけてあげてください。

(児童アンケート⑭)

(児童アンケート⑯)

本を読むことが好きだ。		
○	75.5%	昨年度比 (%) +1.7P
△	24.5%	

トイレのスリッパをきれいに並べるようにしている。		
○	84.3%	昨年度比 (%) -0.2P
△	15.7%	

あいさつを自分からしている。		
○	79.0%	昨年度比 (%) +1.1P
△	21.0%	

学校のきまりを守っている。		
○	91.5%	昨年度比 (%) +5P
△	8.5%	

「本を読むことが好きだ」は昨年同様、肯定的な意見が7割を超えています。さまざまな調査・研究によると、タブレット等で本を読むより、紙の本を読む方が学習効果が高いと言われています。また、読書量の多い児童は学習能力が高いという調査結果もあります。本を読むことは情緒面でもよい影響があります。長尾小では、お話しキューピットさんによる読み聞かせや図書委員会による読書ビンゴカードなど本を読むことが楽しくなる工夫をたくさんしています。ご家庭でも、お子様と一緒に本を読む機会を作るなど読書の習慣づけにご協力ください。

「トイレのスリッパを並べる」「あいさつをする」はともに他人とのかかわりという面で重要な項目です。人と会った時に自分からあいさつできる、次の人のためにスリッパをきれいに並べる、これらのことは人権教育の根っこの部分に当たるところです。今後も、これらのことを児童が当たり前に行えるようにしていきたいと思えます。

「学校のきまり」の肯定的な意見は昨年度より5P上がり9割を超えました。小学校のうちに、規範意識を高めておくことは非常に重要なことです。

以上が、本年度のアンケートの概要でした。

アンケート項目以外にも自由記述で保護者の皆様のご意見をたくさん、いただきました。学校への励ましや感謝の気持ち、ありがとうございます。要望等、取り入れられる部分は学校経営に反映していきたいと思えます。

アンケート結果を参考にしながら、今後も子どもたちの笑顔があふれる学校を作っていきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。